

平成28年度 学校評価(自己評価)
1(不十分 要検討)、2(やや不十分)、3(おおむね十分)、4(十分) 4段階評価

評価の内容・観点			H28 評価	分掌・学年の課題・改善策
学習指導	1	一人一人の学習状況に配慮し、わかる授業を心がけた創意工夫ある授業改善に努めている	3.1	【学習指導】 ○生徒の適性・進路に対応した教育課程の作成 ＜成果＞ ・単位制カリキュラムに基づいた授業展開と教科指導を行った。 ・授業改善の一環として、50分6時間(7時間)時程への変更を検討 ＜課題・改善策＞ ・3年間を見通した科目選択の指導法を検討し、同時にキャリアガイダンスの充実を図る ・新テストを見越した教育課程の編成への準備 ○家庭学習の習慣化 ＜成果＞ ・学習記録表を配付し、週毎の学習時間を記録・提出させることにより、家庭学習を行う意識付けをすることができた。 ＜課題・改善策＞ ・未提出者が固定化している。 ・個人面談資料として利用し、個人面談により、さらなる家庭学習習慣化につなげる。 ○学習クラブ(ELC)の取組 ＜成果＞ ・学習する習慣付けにもなり、継続して取り組んだ ・教科の教員をバランス良く配置することで、生徒の質問に対応する体制を整えることにより、学習内容の理解につながった。 ＜課題・改善策＞ ・継続的に活動する生徒が少人数となってしまった。 ・自学自習できる教材を用意する等、学習意欲が高まる工夫が必要である。
	2	視聴覚教材やプリントを活用するなど、生徒の興味・関心を引き出し、学習意欲を高め、家庭学習の定着を図る取組が継続できている	2.7	
	3	生徒の主体的学び、対話的学び、深い学びを鑑みた指導計画を立案し、併せて多様な評価方法の改善に努めている	2.7	
	4	授業規律に努め、指導と評価の一体化の上に立ち、集中力の育成と学習内容への確かな理解が図られている	3.2	
生徒指導	5	観察や声かけ、個別面談や教育相談等を通して生徒理解を深め、悩みや不安の解消に迅速に対応することができている	3.0	
	6	日頃から、生徒の規範意識(挨拶の習慣化、身だしなみ等)を高め、問題行動の未然防止に努めている	3.0	
	7	いじめの未然防止や不登校要因の解消など、情報を共有する中で迅速に対応できる組織的体制ができている	3.0	
	8	生徒の現状や指導目的・指導方針に関する連絡や説明について、随時家庭に情報発信できている	2.9	
進路指導	9	進学講習や模擬試験、各種検定等の実施や進路面談等による、生徒の進路意識や学力の向上に係る情報を共有することができている	3.1	
	10	キャリア教育の推進に向けた教育活動の模索及び高大接続に係る新テスト導入についての組織的検討の準備がなされている	2.4	
	11	進路指導の取組内容や各種模擬試験、検定等の案内、喫緊の進路情報などについて、生徒・保護者との情報共有ができている	2.9	
	12	保護者向け進路説明会や三者面談等を計画的に行うことで、保護者との連携を十分に図ることができている	3.2	
健康／安全指導	13	HPやたより等を活用し、心身の健康増進や安全意識の向上に関する情報提供に努め、生徒の自己管理意識の啓発につなげられている	3.1	
	14	多様な生徒に対応する、機に応じた教育相談体制が確立され、組織的に迅速かつ適切な対応ができている	3.0	
	15	環境教育が計画的に行われ、環境美化意識の啓発を図る取組が生徒の主体的行動となって現れている	2.9	
	16	AEDやエピペンの取扱いをはじめ、多様なアレルギー疾患、てんかん発症時の緊急対応について、正しい認識を身につけている	2.9	
信頼される学校づくり	17	HPや広報等を活用し、日常の教育活動の積極的な情報発信に努めている	3.1	
	18	PTA活動(PTA研修会、保護者懇談会、PTAだより等)の目的や意義が会員に浸透し、十分な協力が得られている	2.7	
	19	保護者の相談や電話連絡等に対して、誠意ある態度で適切な対応ができている	3.3	
	20	生徒や教職員が積極的に地域(地域行事への参加、学校開放講座の開設等)と関わるように努めている	2.9	
	21	校内外の教育環境が整備され、生徒が安心して学校生活を送れる環境となっている	3.0	
組織運営	22	分掌や学年(年次)が連携し情報の共有を図ることで、協働的かつ組織的に活動を展開させている	2.7	【生徒会】 ○自主性を重んじる生徒会行事について ＜成果＞ ・学校祭では凌雲時代から続くクラスパビリオンを中心とした取り組みを行った。来客からの評価も好評であった。 ＜課題・改善策＞ ・授業時数の確保に伴い、準備時間が削減される中、行事の質を維持・向上させる方策の研究が必要。 ○リーダー意識の浸透について ＜成果＞ ・執行部はどさんこ子どもサミット上川会場の進行役を務めるなど、リーダーとしての意識が育ちつつある。 ・代議員(各クラス委員長)も執行部と目標を共有し、学校を良くしようとする意識が見られる。 ＜課題・改善策＞ ・一般の生徒も目標を共有できる話の伝え方や通信のあり方の検討が必要。 ・一般の生徒の要望を積極的に吸い上げる手段を研究したい。
	23	教職員間での日常的な報告・連絡・相談等がなされ、円滑で迅速な対応が可能になっている	2.7	
	24	危機管理マニュアルや申し合わせ等の認識が共有できており、個々の役割や責任が明確に機能している	2.7	
資質向上	25	校外研修の還元、授業公開や校内研修等の成果が、個々の教科指導力や生徒指導力等に反映されている	2.7	
	26	日頃から法令遵守や服務規律の保持を相互に意識し合う職場が形成されている	3.2	
	27	学校課題に対して、経営参画意識を持ち、改善に自ら積極的に関わろうとする意識が形成されつつある	2.7	